

## 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	大分県立二豊学園
------	----------

## 福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和3年12月7日

③事業者情報

名 称：大分県立二豊学園	種 別：児童自立支援施設
代表者氏名：学園長 祝出 昭夫	定員（利用人数）32名（15名）
所在地：〒879-7502 大分市大字端登5番地 TEL：097-596-1144	

④総評

◇評価の高い点

【子どもを尊重する姿勢が明示されている。】

・運営基本方針の中で重点目標として、①子どもの人権に配慮した学園運営・②安心安全な生活環境の保障・③効果的な支援方法の探求・④組織的な支援の構築等を掲げており、具体的な事業として、今年度から「子ども人権委員会」の設置、寮の「居室の個室化」・「浴室のユニット化」の着手等適宜に取り組んでいる。

【職員の質の向上に向けた体制が確立されている。】

・受け入れ先がなく困っている子ども達を「最後の砦」として居場所を提供する公立機関支援機関としての役割を果たしており、安心安全な生活環境の保障、その上で個々の子ども達の特性に適した効果的な支援・指導に取り組んでいる。その基盤となるのは、組織的な支援と職員の専門性の向上や質の向上が求められる。当施設は、職員の能力を高めるため必要な対策を個々に取り組んでおり、職員の個別相談や研修会等の「ケースカンファレンス」を開催して職員一人ひとりの人材育成に取り組んでいる。

【子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

・虐待を受けた子ども達は長期間、不適切な養育環境下で生活してきており、アンバランスで成長してきた心身を、職員との関わりで「枠のある生活」・「育て直し」・「社会に繋ぐ」等を支援目標としている事を子どもや保護者にわかりやすく説明している。又、当施設が寮生活を通して「生活支援」・「学習支援」・「寮活動支援」等の総合環境療法的な支援で、子ども達の自己肯定感の回復に取り組んでいる。更に退園後の支援方法「アフターフォロー計画」を策定し、インケア支援から継続して支援に取り組んでいる。

【子どもが安定した生活を送れるよう退所に向けた支援を行っている。】

・基本方針に「退所後支援の充実」を明記。退所に向けた支援については、「目標設定・課題」の評価を行い「自立支援計画」に基づき退所に向けた「児童支援」「家庭支援」を行っている。退所にあたっては、関係社会資源との協議を行い「アフターフォロー計画」を見相に提出し支援を行っている。退所した子どもの家庭や施設のレスパイトや、退所した児童の問題行動での緊急事態時は、短期間の一時保護委託を実施。

【親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。】

・自立支援計画により家族支援についても「支援目標」「課題」「支援内容・方法」「評価」について明記されている。家庭の現状を把握して課題を抽出し、見相とのケース協議の場や日常の連携の中で支援内容を考案し積極的に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

【性に関する教育の機会を設けている。】

・性に関する教育については、個別対応を実施している。入園から退所の間、年齢や個別の状況により性についての正しい知識を確認している。ケースに応じて見相と協議のうえ、連携し、寮や心理士が主体となり学園で丁寧な支援を実施している。子どもの性に対する正しい理解を促すため、現在、見相と学園の両心理士間で支援を考案中の「性教育カリキュラム」の作成を期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

本年度「福祉サービス第三者評価」を受審するにあたり、例年どおり第三者評価の意義や有用性について、全職員が理解するよう取り組んできた。

学園では児童を中心におき、日頃からの愛情ある関わりを実施しているものの、やはり第三者評価機関の受審により、より良い学園に発展すると考えるため、今回の受審により、更に取り組むべき課題へ気付くことができた。今後も振り返りを大切にしながら、日々の業務を行っていきたい。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）